

平成22年度京都府小学校基礎学力診断テスト 実施及び結果の概要  
**府内児童の基礎学力はおおむね定着、活用する力についても改善が進む**

平成22年7月9日  
 学校教育課

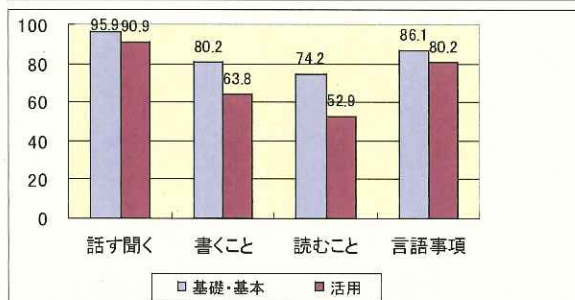
- 1 実施日 平成22年4月9日（金）～4月16日（金）
- 2 実施対象 府内全小学校（243校）・特別支援学校（1校）の第4学年及び第6学年児童
- 3 実施教科及び受検者数
 

第4学年	国語（11,192人）	算数（11,189人）
第6学年	国語（11,437人）	算数（11,424人）
- 4 問題内容及び問題数
  - (1) 基礎・基本に関する問題・・・15問
  - (2) 活用に関する問題・・・10問

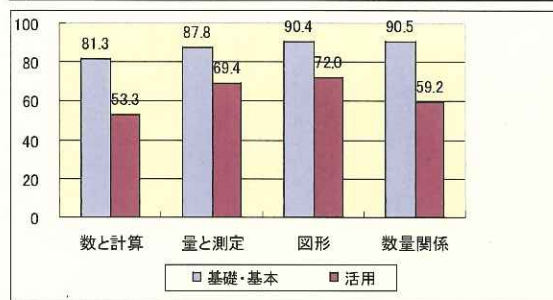
5 結果の概要  
 (1) 京都府の状況

※ 数値はすべて正答率（％）

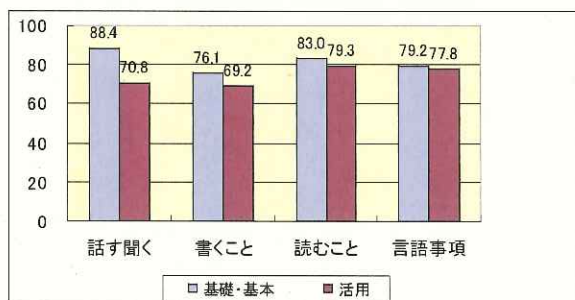
4年【国語】		
基礎・基本に関する問題	82.3%	75.1%
活用に関する問題	64.3%	



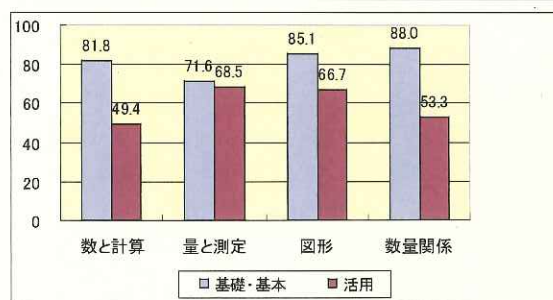
4年【算数】		
基礎・基本に関する問題	85.6%	76.6%
活用に関する問題	63.0%	



6年【国語】		
基礎・基本に関する問題	81.1%	79.1%
活用に関する問題	76.1%	



6年【算数】		
基礎・基本に関する問題	82.3%	72.3%
活用に関する問題	57.2%	



**【国語】**

記述式の問題で無答が多いなど、読むこと・書くことを苦手としている傾向があったが、各学校での「ことばの力の育成」を重視した取組により、4年生の記述式問題では、正答率が21年度の31.9%から46.0%へ増加し、無答率も9.6%から3.7%に減少するなど成果が見られた。

**【算数】**

基礎・基本に関する問題については、正答率が約80%と概ね定着しているが、約20%の児童につまずきが見られる。

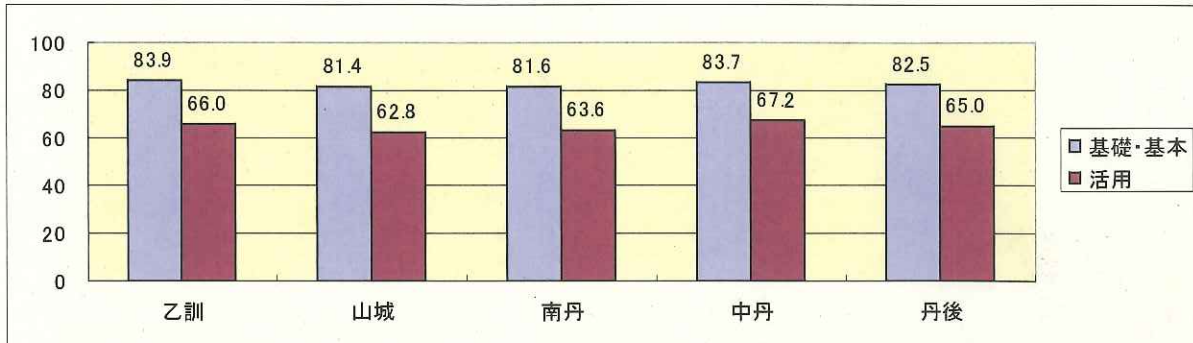
今回、総合教育センターでは、こうした児童の学習を支援するため、「個別学習支援『算数ナビつーる』」を開発し、今月中に各小中学校に配布する。

【診断テストの分析及び活用】

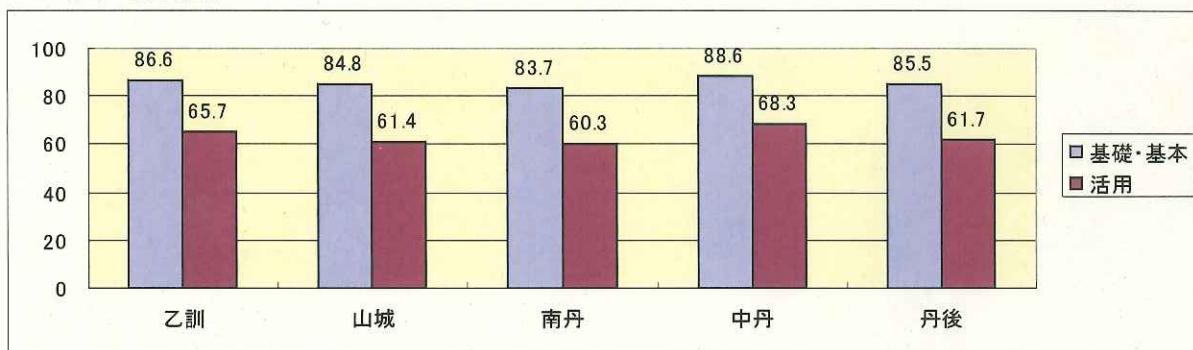
各校では、個別データ整理表示ツール「こべつーる」を活用し、児童一人一人の学力の分析・授業改善の方策の検討を進めている。また、総合教育センターにおいて「分析・活用講座」を実施し、各校への支援を行っている。

(2) 教育局別の状況  
4年【国語】

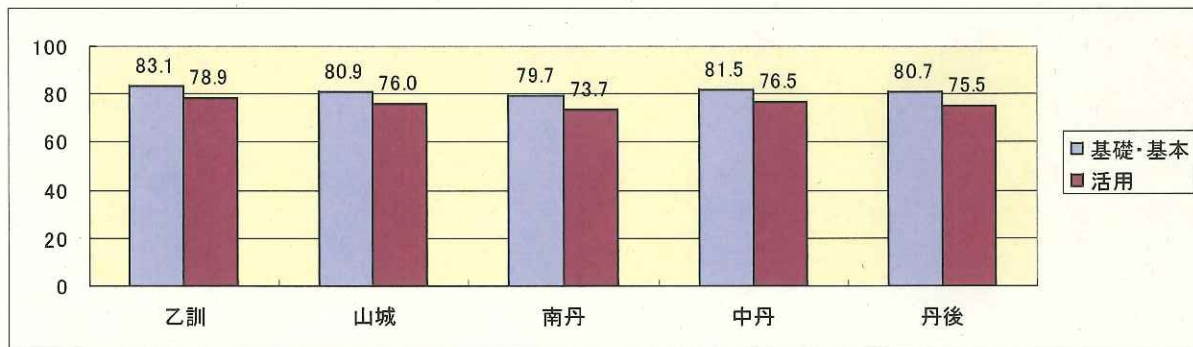
※ 数値はすべて正答率(%)



4年【算数】



6年【国語】



6年【算数】

